

□桂竹丸講演落語会終了

四月二十九日(昭和の日)午後一時半より本堂にて開催されました。(参加者二百名)前段はお得意の落語で笑わせ、本題の「ホタルの母」では鹿児島知寛特攻隊の若き兵隊さんと食堂のおばさん(鳥浜トメさん)の実話を元にした涙溢れる人情噺を熱演いただきました。



高座で熱演する桂竹丸師匠

□大般若・先住忌終了

六月十日午前十時より例年の大般若法会と先住十三回忌法要を厳修いたしました。導師は本寺村上市門前耕雲寺住職菊地光彦老師がお勤めくだされました。随喜ご寺院四十三名、お参りは百名でした。ご参りいただきました檀信徒の皆様には厚く御礼申し上げます。



重要文化財に指定された大本山永平寺

伽藍が重要文化財に

曹洞宗大本山永平寺(福井県永平寺町)の仏殿、法堂など主要建造物十九棟が五月十七日、国の文化審議会により重要文化財に指定されました。永平寺は道元禪師が1244年に開創したもので、谷沿いの緩やかな傾斜地に禅宗寺院の基本的な建物配置である七堂伽藍(法堂、仏殿、庫院、僧堂、浴室、東司)を残し、各建物と雄大な規模と壮麗な意匠を備え、山中の自然と一体となって優れた空間をつくり出している点が評価されたもの。堂内の拝観ルートにある主な建物が重文に指定されている。

大本山永平寺参拝と

京都・おごと温泉の旅

〈先住十三回忌法要〉

期日 九月二十六日〜二十八日

(二泊三日)

旅費 六万円

人数 四十名

申込金 一万円(旅費充当)

べ切 八月末日

*定員に若干の余裕があります。



このたびの大本山永平寺参拝では

本年十三回忌を迎えた先住神田洞光大和尚の法要を福山諦法貫首猊下にお勤めいただきます。併せて長谷寺二十世安澤浩祥大和尚の入祖堂(お位牌を永平寺にお祀りする法要)も厳修されます。このまたと無い機会にぜひご参加下され、重要文化財に指定された永平寺の多数の伽藍と、今も大勢の若い修行僧が毎日厳しい修行を積んでいるその日常に触れていただければ幸甚に存じます。(本山にて一泊いたします)



▽当寺副住職(神田孝純)

宗務所梅花講評議員(監査委員)を務め、梅花検定委員、教区講習会、各寺の大般若法要には梅花指導の任に当たっている。

▽千眼寺(神田秀孝・住職)

村上市平林・十八教区

七月一日大般若会に併せて先住山本彦老師の七回忌法要を厳修。導師は本寺耕雲寺菊地光彦老師がお勤めされた。

▽雲泉寺(神田恭真・副住職)

関川村土沢・十八教区

七月二十一日例年の如く大般若会を厳修。大般若、檀信徒供養どちらも導師は副住職が勤めた。土沢にご縁のある田村優子さんが篠笛を披露して法要に花を添えてくれました。尚、八月十三日は「竹灯籠で迎え火を」のイベントが土沢小学校庭園で開催される。篠笛奏者の田村優子さんも参加される。

